

DAIKA

大貨

40周年

記念

協連

大阪府貨物運送協同組合連合会

目 次

月 日	: 平成19年10月20日(土)
場 所	: 大阪市中央公会堂
記念式典	: PM2:00~2:50
講演会	: PM3:00~4:00

第1部 記念式典

	(司会)	専務理事	池谷成之	
開式の辞		副会長	山口雄	3
式辞		会長	西光清	3
記念表彰				4~6
来賓祝辞	近畿運輸局長		各務正人様	7
	商工組合中央金庫	理事	安倍保様	8
	日本貨物運送協同組合連合会	会長	小笠原和俊様	9
	社団法人大阪府トラック協会	会長	大和健司様	10
来賓紹介				12~13
祝電披露				14~15
ホームページ開設のご案内				16
閉式の辞	副会長		中川才助	16

第2部 講演会

開演挨拶	副会長	亀井亮	17
演題			17
「当面の政治問題」	講師	東洋大学総長	塩川正十郎氏
謝辞	副会長	芦野徹司	17
大貨協連とともに…職員の思い			18~25
大貨協連概要			26
大貨協連沿革			27~29
会員名簿			30~34



大阪府貨物運送協同組合連合会 創立40周年記念





大阪府貨物運送協同組合連合会
副会長 山口 雄

開式の辞

記念式典を執り行うにあたり、来賓の皆様をはじめ、取引先、会員協同組合および組合員の皆様には、ご多忙のところご臨席いただき、誠にありがとうございます。

お陰様で、このように創立40周年を迎えることが出来ますことは、ご臨席いただきました皆様方のご指導、ご支援の賜物と重ねてお礼申し上げます。

記念式典のあと、塩川正十郎先生をお迎えし、講演をいただきますので、ご聴講を賜りますようお願い申し上げます。

式 辞

大阪府貨物運送協同組合連合会
会 長 西光 清



本日、大阪府貨物運送協同組合連合会の創立40周年記念式典を挙げていたしまして、近畿運輸局の各務正人局長様をはじめご来賓の皆様方には、ご多忙の中をご臨席賜り、誠にありがとうございます。また、会員協同組合ならびにその組合員事業者の皆様方には、多数ご出席をいただきまして大変ありがとうございます。

顧みますと、当連合会が昭和42年10月に30協同組合を会員として創立した当時は、貨物自動車運送事業の近代化基本5カ年計画の実施第2年度であり、全国各地で中小企業の近代化、高度化、組織化などの施策が活発に進められていた時期でした。そうした中で、当連合会は中小運送事業者の協同組合組織化と、それら協同組合の指導団体として、また貨物自動車運送業界における経済団体としての役割を担い、社団法人大阪府トラック協会の全面的な支援のもとに発足したものです。

以来、当連合会では、中小運送事業者の近代化、合理化のため協同組合の組織化に努めるとともに、構造改善事業をはじめ各種中小企業施策を大阪府トラック協会と連携して推進してきました。また経済団体として貨物自動車運送事業者の経済メリット追求のため、各種経済事業を積極的に実施し、会員協同組合ならびに組合員事業者に多くの利益還元を図ってきました。

40年を経過した現在の当連合会は、会員数120協同組合を誇る組織となりました。その間には、道路運送法が貨物自動車運送事業法に、高速道路通行料金別納制度からETC利用を前提とした大口・多頻度割引制度へ、阪神・首都高速道路の回数通行券の廃止など、また事業運営面でもいくつもの大きな変革期を迎えましたが、先達の努力と、近畿運輸局、関係各位のご指導、ご支援によって内容の充実した連合会に成長しました。

当連合会では、教育情報事業として協同組合の設立、運営等に関する指導、また本日より本格稼働いたしますホームページ「DAIKA」を活用した法律、税制、諸

官庁ならびに関連団体の動向、諸資材購入価格および輸送動向の調査等の情報などを積極的に

提供しています。また、経済事業としては、高速道路など有料道路における通行料金の大口・多頻度割引制度の業務代行、大貨フェリー予約センターによる6船社のトラック航送運賃後払い制度の取り扱い、各種共済保険の取り扱い、共同車庫、諸資材の購入斡旋等、組合員事業者の皆さまのお役に立つ事業の推進に努めてきました。

私はかねがね協同組合運営に携わる者として、組合員事業者の団結と組織力こそ力の原点であり、具体的な事業目的の提示と企画力、理事長の指導力、組合員事業者の連帯感、それに事務局の努力が一体となったとき、はじめて協同組合事業が成功に導かれると考えており、特に企業格差と経済低迷の今日こそ、協同組合事業の再認識と活性化を図っていかねば我々中小運送事業者の将来は考えられないと思っています。

いずれにしましても当連合会は、会員協同組合に信頼され、組合員事業者の皆様役に立てる組織でなければならないと考えています。そのためにも当連合会運営の基本は、指導団体として、また経済団体としての独自性を保ちつつ、業界全体の問題については、大阪府トラック協会や上部団体の日本貨物運送協同組合連合会と密接な連携のもとに対処し、中小運送事業者の経済的地位の向上を図っていくべきものと考えますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

創立 40 周年記念事業

記念表彰

感謝状受賞 (5名)

氏 名	本会役員年数	備 考
西 光 清	28 年	30 年以上 = なし
中 川 才 助	11 年	20 年以上 = 1 名
山 本 幸 夫	11 年	10 年以上 = 4 名
山 口 雄	10 年	
川 端 英 治	10 年	

(敬称略)



各務正人近畿運輸局長から感謝状を受ける西光清会長



永年勤続役員感謝状を受ける山本幸夫理事

30年以上表彰状受賞 (65協同組合)

名 称	本 会 会員年数		
旭都島トラック事業協同組合	36 年	大阪南輸事業協同組合	34 年
和泉運輸事業協同組合	32 年	大阪西運輸事業協同組合	32 年
茨木運輸事業協同組合	32 年	大阪西貨物事業協同組合	39 年
大阪運送事業協同組合	32 年	大阪ニシセイ運送事業協同組合	37 年
大阪エフエル物流事業協同組合	31 年	大阪東貨物運送協同組合	40 年
大阪海陸運輸協同組合	39 年	大阪府重量運輸協同組合	40 年
大阪河南運輸事業協同組合	32 年	大阪府トラック協同組合	40 年
大阪河北運輸事業協同組合	32 年	大阪北部鉄鋼輸送協同組合	37 年
大阪貨物自動車協同組合	32 年	大阪木材運輸協同組合	40 年
大阪市中央自動車運輸協同組合	34 年	大阪陸運事業協同組合	40 年
大阪新中央運輸協同組合	32 年	大阪流通事業協同組合	40 年
大阪中央陸運協同組合	40 年	大淀運送事業協同組合	40 年
大阪東部運送協同組合	40 年	貝塚貨物運送協同組合	33 年
大阪トラック流通事業協同組合	32 年	柏運送協同組合	37 年
協同組合大阪南港配送センター	33 年	関西運送事業協同組合	40 年
大阪南部運送事業協同組合	39 年	関西貨物運送事業協同組合	32 年
		岸貝運輸業協同組合	33 年
		旭東運送協同組合	40 年

表彰状受賞 (7名)

氏名	本会勤続年数	備考
池谷成之	37年	30年以上 = 2名
岡本良一	37年	20年以上 = なし
田口義隆	19年	10年以上 = 4名
小島浩博	18年	5年以上 = 1名
三宅博子	12年	
四宮加奈子	10年	
高木明子	9年	

(敬称略)



永年勤続職員表彰を受ける
四宮加奈子さん



会員表彰を受ける永崎光雄
大阪東部運送協同組合理事長

近畿トラック運送協同組合	40年
協同組合近畿輸送情報センター	38年
くだら運輸事業協同組合	40年
堺市運輸事業協同組合	31年
商工運輸協同組合	40年
城東物流協同組合	33年
新大阪運輸事業協同組合	38年
協同組合新大阪貨物流通センター	33年
住吉貨物自動車協同組合	32年
全大阪運送事業協同組合	40年
泉州貨物輸送事業協同組合	40年
泉州トラック事業協同組合	32年
泉南陸運事業協同組合	35年
大正運輸事業協同組合	37年
大正トラック事業協同組合	32年
高槻運輸事業協同組合	32年
天王寺運輸協同組合	32年
東部トラック事業協同組合	37年

富田林トラック運送事業協同組合	32年
西大阪運送事業協同組合	39年
西浪速運送事業協同組合	40年
西淀運輸事業協同組合	32年
羽曳野藤井寺運輸協同組合	32年
東大阪運送事業協同組合	40年
東大阪運輸事業協同組合	40年
東大阪鉄鋼輸送事業協同組合	32年
東大阪トラックターミナル事業協同組合	32年
日立物流関西事業協同組合	32年
引越専門協同組合関西	30年
布施貨物自動車運送事業協同組合	32年
ローカルネットオール大阪協同組合	32年

20年以上表彰状受賞 (21協同組合)

名 称	本 会 会員年数	名 称	本 会 会員年数
大阪梅田運輸事業協同組合	27年	近畿物流事業協同組合	29年
大阪北トラック協同組合	29年	新淀川運送事業協同組合	26年
大阪高速トラック協同組合	24年	タカラ物流協同組合	21年
大阪第一トラック協同組合	24年	東住運輸事業協同組合	24年
大阪中央トラック協同組合	26年	ナニワ運送事業協同組合	20年
大阪中島運輸事業協同組合	22年	なにわトラック事業協同組合	22年
大阪東トラック協同組合	29年	東淀川運輸事業協同組合	22年
大阪南トラック協同組合	29年	藤原運送事業協同組合	28年
オプス事業協同組合	23年	物流システム事業協同組合	22年
関西物流サービス事業協同組合	20年	豊興グループ事業協同組合	28年
関西流通センター協同組合	29年		

10年以上表彰状受賞 (15協同組合)

名 称	本 会 会員年数	名 称	本 会 会員年数
大阪車庫事業協同組合	19年	協同組合この花トランスポートサービス	16年
大阪長野運輸協同組合	18年	つばめグループ協同組合	14年
大阪北部運輸事業協同組合	17年	浪速南事業協同組合	12年
関西貨物情報システム事業協同組合	10年	協同組合ネットワークなにわ	15年
岸和田木コン流通事業協同組合	14年	ホックス大阪物流ネットワーク協同組合	12年
近畿トラックセービング協同組合	11年	丸協グループ協同組合	13年
近畿生コン輸送協同組合	11年	協同組合淀川協同センター	14年
近畿バラセメント輸送協同組合	11年		

創立40周年表彰選考基準

下記の選考基準により感謝状および表彰状を贈呈する。

記

※表彰基準日を平成19年10月20日(創立総会の昭和42年10月2日より40年を経過する日)とする。

1 感謝状

- ① 本会の役員として基準日において30年以上在任する者
- ② 本会の役員として基準日において20年以上在任する者
- ③ 本会の役員として基準日において10年以上在任する者

2 表彰状

- ① 本会の会員として基準日において30年以上活動する事業協同組合
- ② 本会の会員として基準日において20年以上活動する事業協同組合
- ③ 本会の会員として基準日において10年以上活動する事業協同組合
- ④ 本会の専従役員として基準日において30年以上在籍する者
- ⑤ 本会の専従役員として基準日において20年以上在籍する者
- ⑥ 本会の専従役員として基準日において10年以上在籍する者
- ⑦ 本会の専従役員として基準日において5年以上在籍する者

(但し、④～⑦で関係団体より転入した者については、前在籍年数を通算する。)



近畿運輸局長 各務 正人 様

このたび大阪府貨物運送協同組合連合会が創立 40 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

また、皆様方には国土交通行政全般にわたりまして日頃からご理解とご協力を賜っておりますことに対し、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

貴連合会は、昭和 42 年 10 月に設立され、当時は 30 協同組合、傘下組合員数 437 社での発足であったと聞いておりますが、創立 40 年の長きにわたり、中小貨物自動車運送事業者の組織化に努め、今日 119 協同組合、傘下組合員数 1726 社を有する伝統ある組織へと発展されたわけであります。

以来、「教育情報事業」と「経済事業」を大きな柱として、中小貨物運送自動車事業者の組織化や在阪協同組合の指導団体として発展されて参りました。

さて、我が国は景気も緩やかな回復と言われておりますが、貨物運送業界におきましては運賃水準の低下、燃料価格の高騰や長距離ドライバー不足の問題は、一層深刻化する傾向にあり、経営環境が厳しい状況にあります。

また、国土交通省が平成 19 年 5 月に公表した貨物流動調査によりますと、平成 17 年度の航空を除いた全運送機関の総貨物量は、約 55 億 8400 万トンであり、過去最高のピークだった平成 3 年度からは 19.7% 減少し、11 年度以降、6 年連続の減少となっております。

このような中、トンキロベースで国内物流の約 6 割を占めるトラック輸送は、我が国の経済産業活動と国民生活を支える重要な基盤として大きな役割を担っており、また、公共輸送機関たるトラック運送事業の社会的使命として「社会との共生」を目標に、環境改善の取り組みや事故防止策、物流ニーズの変化への対応などに取り組む必要があります。

こうした社会的要請の下、貴連合会は大阪府下唯一の連合会として、大阪の協同組合の指導、WebKIT 事業の普及促進など各種共同事業を推進され、協同組合の活性化を図り、貨物自動車運送事業者の社会的、経済的地位の向上に努められてこられたことに改めて敬意を表する次第でございます。

今後とも、日本貨物運送協同組合連合会、社団法人大阪府トラック協会との連携のもとに、貨物運送業界のさらなる発展のため、新しい事業に積極的に取り組んでいただくようお願いするものであります。行政といたしましても、皆様方の新しい発想が生かされますよう関係機関とも必要な連携を図りながら貨物運送事業の健全な発展のため努めて参る所存です。

貴連合会が傘下会員と手を携えて、協同組合の円滑な運営、健全な事業の発展と経営基盤の強化を図り、物流の高度化、安全・安心の確保、環境問題等に取り組まれ、未来に向けて力強い一歩を踏み出されることを期待するものであります。

この 40 周年を契機に、大阪府貨物運送協同組合連合会が、今後、益々発展されることを祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

ご来賓祝辞

商工組合中央金庫 理事 安倍 保 様



本日は創立 40 周年記念式典が盛大に行われ、誠にありがとうございます。

大貨協連には私どもの船場支店、傘下の協同組合には大阪府内の 6 支店が大変お世話になっております。大貨協連、また傘下協同組合には、私どもに 3 億円を超える出資をいただいておりますし、多額の商工債権のお引受もお願いしております。もちろん、協同組合並びに組合員の皆さんに融資もご利用いただいております。本当に色々な面で商工中金を支えていただいております。

また、ここ数年にわたる商工中金の民営化につきましてもご支援をいただきました。改めて厚くお礼申し上げます。

大貨協連は昭和 42 年 10 月に設立。以来 40 年、組織化された貨物自動車運送業界の協同組合を指導する団体、あるいは経済団体として多大な業績を挙げ、貢献をされてこられました。長年にわたって努力された役職員の方々に敬意を表したいと思います。

今後は 50 周年、60 周年を目指し、大阪の貨物自動車運送業界にとってなくてはならない連合会として発展されることを祈念します。

私ごとで恐縮ですが、商工中金は平成 20 年 10 月に株式会社化し、政府出資の特殊会社として組織転換します。現在各方面の準備を進めております。新しい会社の定款を定めたり、役員構成を決める転換計画に対して認可を得なければなりません。このため、転換計画検討委員会を設置し、議論しています。委員の中には、日本貨物運送協同組合連合会の小笠原和俊会長にも全国の取引先を代表する 16 名の委員の一人として貴重な意見をいただいているところであります。

こういった準備作業をしっかりとやっていきますが、今日お集まりの皆さん方にも、色んな場面で情報提供し、交換し、ご意見をいただきながら失敗のないよう組織の転換をしてスタートさせたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

お祝いの言葉がお願いごとになって恐縮ですが、大貨協連の今後益々のご発展、今日お集まりの皆さん方のご健勝と社業のご繁栄を祈って、お祝いの言葉とさせていただきます。





日本貨物運送協同組合連合会
会長 小笠原 和俊 様

大阪府貨物運送協同組合連合会の創立 40 周年記念式典を挙げるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

貴連合会は、昭和 42 年に大阪府内の 30 のトラック運送事業協同組合が結集して発足されて以来、大貨協連として会員に親しまれながら常に積極的な事業活動と組織化に取り組み、今日では 119 協同組合、1700 余の組合員を擁する大組織に発展されましたことは、ご同慶の至りであります。これはひとえに、歴代の会長、副会長をはじめとする役員、会員の皆様方のご苦勞とご精進の賜物と心より敬意を表する次第であります。

顧みますと、大阪府貨物運送協同組合連合会の設立されました昭和 42 年は、いざなぎ景気の最中であり、トラック輸送産業は昭和 38 年に近代化指定業種の指定を受け業界を挙げて近代化に取り組んでいた時期で、その後 40 年間にわたって、貴連合会は府下の協同組合並びにその組合員事業者の事業発展を第一に、その時々最先端の事業に全国で率先して取り組まれるなど時代の先端を歩まれ続けていることに対し、西光会長の卓越した指導力と会員協同組合の強い結束、そして事務局の皆様のご努力があつてのものと、感服するところであります。

さて、トラック運送事業協同組合並びに業界におきましては、ここ数年、燃料価格の高騰に苦しめられ、運賃への燃料価格上昇分の転嫁もままならないなど、事業協同組合並びに会員事業者の円滑な事業運営を拒む諸課題が山積いたしております。

このような状況の中で、本年度より日貨協連では燃料の共同購入制度を開始致しました。制度の定着と発展のためには、より多くの連合会、協同組合の参加が不可欠であり、そうした中であつて貴連合会からは開始と同時に制度へのご参加を頂き、大変心強く感じているところであります。また、トラック運送業界も 6 万社時代を迎えて一層競争が厳しくなっておりますが、協同組合に参加する事業者の数は伸び悩んでおり、それとともに、経済構造の変化の中で協同組合事業への参加率も頭打ちの状態となっております。しかしながら、こうした時代こそ協同組合による共同の力が必要となって参ります。このような状況の中で、貴連合会では、日貨協連が推進する WebKIT 事業を連合会として積極的に取り組み、協同組合や組合員の求心力を高めておられます。このことは、まさに全国の連合会、協同組合の組織強化推進の模範となっております。

日貨協連といたしましては、これからも KIT 事業の拡大発展を図ることをはじめ、現在実施しております諸事業をこれまで以上に推進していく所存であります。皆様のご期待に沿えるよう、着実に前進してまいりたいと考えておりますので、この上ともご支援を頂戴できれば誠に幸甚に存する次第であります。

終わりにのぞみ、協同組合の最大規模を誇る大阪府貨物運送協同組合連合会の活動は、全国の協同組合の模範となるものであり、設立 40 周年をひとつの折り目として更なる前進を遂げられ、会員事業者の方々ともどもますますのご隆盛を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご来賓祝辞

社団法人 大阪府トラック協会 会 長 大和 健司 様



大貨協連の創立 40 周年、誠におめでとうございます。また、皆様方には平素、大阪府トラック協会の運営等につきまして格別のご指導、ご支援を賜っておりますことに心から厚くお礼を申し上げます。

さて、貴連合会は、昭和 42 年 10 月、トラック運送事業の近代化、高度化、組織化を図り、社会的、経済的地位の向上を目指して大阪府下の各協同組合の連合体として発足されました。爾来 40 年、時代の変遷とともに社会構造が大きく変革する中で、会員各位の結束と協力のもと協同組合の理念である相互扶助の精神にのっとり、協同組合の活性化、組織化に努力を重ねてこられました。皆様方のご努力は、今日では、全国一の貨物運送協同組合の連合会組織として揺るぎない地位を築かれ、大きな発展を遂げられたのでございます。この発展には、さきほど表彰を受けられた皆様方のご貢献は多大であります。ここで改めて皆様方に心から敬意を表するものであります。

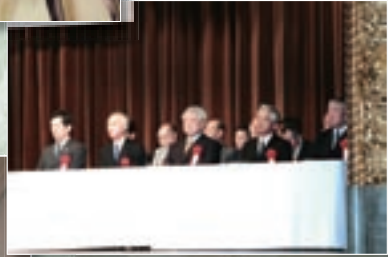
また、貴連合会は、業界の経済事業団体として組合員のため、経済事業をはじめ各種共同事業を展開され、トラック運送業界の社会的、経済的地位の向上など業界の近代化に大きな成果を挙げられましたことは、業界内外において広く認識されているところでございます。これもひとえに、組合の皆様方の団結力と組織力、そして歴代の会長をはじめ役員の方々並びに関係各位の皆様方の多大な努力の賜物であります。ここに改めて心から敬意を表する次第です。

現在トラック運送業界は、環境問題、安全問題、事業の適正化問題をはじめ、道路特定財源の一般財源化問題、自動車関係諸税の軽減問題、また燃料価格の高騰問題、さらには阪神高速道路の対距離料金制問題など、多くの宿題が山積する誠に厳しい状況が続いているところでございます。

このような大変厳しい状況下にありますますが、貴連合会が担う役割は極めて重要であります。引き続き、そのご活躍を大いに期待するところでございます。どうか西光会長様を中心に役員の皆様方並びに会員の皆様方が一致結束を図られ、貴連合会のさらなる発展のためにご尽力いただきますとともに、車の両輪関係にございます大阪府トラック協会の運営につきましてもより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、本日創立 40 周年を契機とされまして、大阪府貨物運送協同組合連合会のさらなる発展と、会員各位のご事業の発展、ご出席の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念してごあいさつとさせていただきます。





ご来賓紹介

敬称略

官庁等ご来賓(32名)

近畿運輸局	局長	各務 正人
	次長	江河 直人
	自動車交通部部長	新垣 慶太
	自動車交通部次長	奥 篤
	自動車交通部貨物課課長	田村 繁夫
	自動車交通部貨物課課長補佐	本田 邦彦
	自動車交通部貨物課専門官	南條 正幸
	自動車交通部貨物課専門官	仁科 敬一郎
近畿運輸局大阪運輸支局	支局長	川口 透
	次長	百田 繁
	首席運輸企画専門官	竹内 哲也
大阪府	知事	太田 房江
	商工労働部部長	熊谷 敬
	商工労働部商工振興室室長	本田 洋一
	青少年課課長	浜野 浩一
	青少年課主査	山口 元伸
大阪府警察本部	本部長	近石 康宏
	交通部長	斉藤 良雄
	高速道路交通警察隊長	森本 重夫
西日本高速道路(株)	代表取締役会長	石田 孝
	代表取締役社長	奥田 楯彦
西日本高速道路(株) 関西支社	支社長	牧浦 信一
	管理事業部部長	北田 正彦
	管理事業部顧客リレーショングループグループリーダー	那須 芳則
阪神高速道路(株)	代表取締役会長	田中 宰
	代表取締役社長	木下 博夫
	営業部長	井上 雅夫
	業務部シニアマネージャ	嘉村 徹也
(財)阪神高速地域交流センター	理事長	河田 信生
阪神高速サービス(株)	代表取締役社長	河田 信生
(社)大阪府自家用自動車連合協会	会長	中村 勉
大阪府道路公社	理事長	正木 啓子
大阪市道路公社	理事長	田中 清剛

関係団体等ご来賓(102名)

日本貨物運送協同組合連合会	会長	小笠原 和俊
	副会長	石狩新港運送事業協同組合理事長 杉本 守巧
	副会長	宮城県トラック事業協同組合連合会会長 倉茂 周典
	副会長	東京都トラック運送事業協同組合連合会会長 植田 昌宏
	副会長	岐阜県貨物運送協同組合連合会会長 堀部 貞夫
	副会長	岡山県運送事業協同組合連合会会長 室山 脩之輔
	副会長 専務理事	宮崎県貨物運送事業協同組合連合会会長 草水 正義 二宮 大蔵
(社)全日本トラック協会		会長 中西 英一郎
大阪府中小企業団体中央会		会長 岡本 植雄 専務理事 山口 春夫 事務局長 菊井 啓允
京都府トラック事業協同組合連合会		会長 中塚 孝次 専務理事 太田 忠臣
兵庫県貨物運送協同組合連合会		会長 松原 丈夫 専務理事 田川 善章
滋賀県貨物運送協同組合連合会		会長 小林 正義 専務理事 池田 満州男
奈良県貨物運送事業協同組合連合会		会長 辻本 廣行 事務局長 松井 敬史
和歌山県貨物運送事業協同組合連合会		会長 濱井 弘至 専務理事 高木 光正
びわこ輸送システム協同組合		理事長 小林 正義
京都流通センター運輸事業協同組合		理事長 山本 保夫
京都第一トラック協同組合		理事長 居相 正一
京都府中央運輸事業協同組合		理事長 山下 勝康
伏見トラック事業協同組合		理事長 上田 龍司
関西トラック急行協同組合		理事長 佐藤 澄隆
平成物流事業協同組合		理事長 南本 昭夫
兵庫県貨物陸運事業協同組合		理事長 鈴木 正治
兵庫県トラック運送協同組合		理事長 鈴江 剛
兵庫中央高速協同組合		理事長 森川 武夫
尼崎運輸事業協同組合		理事長 坂尾 洋南
播州高速事業協同組合		理事長 福永 征秀
奈良中央運輸事業協同組合		理事長 前野 操
奈良県貨物運送事業協同組合		理事長 辻本 廣行
和歌山市運送事業協同組合		理事長 野嶋 利博
和歌山縣輸送協同組合		理事長 大浦 聖人
紀州高速事業協同組合		理事長 濱井 弘至
伊都トラック運送事業協同組合		理事長 田中 隆
紀北青果輸送事業協同組合		理事長 阪井 史宏
中紀物流事業協同組合		理事長 大浦 義弘
大阪バス事業協同組合		理事長 三野 正男
大阪府運輸倉庫協会		会長 中野 正彦 常務理事 坂田 義和
(社)大阪府トラック協会		会長 大和 健司
		副会長 木下 道造
		副会長 坂本 克己
		副会長 辻 卓史
		副会長 振津 泰弘
		副会長 山本 幸夫
		副会長 福田 泰久
		副会長 山口 雄
		専務理事 小野 隆生
		常務理事 北出 幸慈
		常務理事 友谷 正一
常務理事 長野 稔		

金融機関ご来賓(14名)

商工組合中央金庫	近畿地区担当理事	安倍 保
	大阪支店長	菊池 慶幸
	梅田支店長	小菅 章裕
	船場支店長	松田 雅志
	次長	舟橋 哲哉
	堺支店長	上部 昌之
	東大阪支店長	砂崎 和範
	箕面船場支店長	樽松 俊孝
(株)りそな銀行	常務執行役大阪営業部長	廣富 靖以
	大阪営業第四部長	植田 伸吾
中小企業金融公庫	大阪駐在理事	山本 耕三
	大阪支店長	熊田 善三郎
国民金融公庫	参事支店長	根来 重夫
	国民金融公庫大阪相談センター所長	遠藤 力

(社)大阪府トラック協会	河北支部	支部長 事務長	吉本 英雄 前田 禮司
	大正支部	支部長 事務長	阿知波 毅 柚木園 浩之
	南大阪支部	支部長 事務長	澤田 時雄 福岡 常行
	中央支部	支部長 事務長	上 村 晋 谷口 栄治
	第六支部	支部長 事務長	山本 壽男 大磯 義信
	東大阪支部	支部長 事務長	山田 行雄 前田 敏明
	西支部	支部長 事務長	小田原 武 浅野 武彦
	北大阪支部	支部長 事務長	坂田 喜信 生田 みどり
	泉州支部	支部長 事務長	池辺 祐一 田 所 守
	浪速南支部	支部長 事務長	藤井 照信 中村 千秋
	東北支部	支部長 事務長	小松 弘人 中西 一彦
	港支部	支部長 事務長	浅井 潔 和田 泰一
	近畿交通共済協同組合	理事長 専務理事 常務理事 常務理事	坂本 克己 山下 博 島村 進 松井 隆 藤田 年雄
(社)大阪府貨物運送特定退職金共済会	会長	振津 泰弘	
大阪府貨物運送健康保険組合	理事長 常務理事 理事	川端 英治 今井 良一 鳥井 武宣	
大阪府貨物運送厚生年金基金	理事長 常務理事 理事	小松 弘人 松野 一夫 积廻戸 民雄	
陸上貨物運送事業労働災害防止協会大阪府支部	支部長 専務理事	坂本 克己 藤田 清	
(社)全国クレーン建設業協会 大阪支部	支部長	松谷 元夫	
NPO法人 大阪ヘルスケアネットワーク普及推進機構	理事長 理事	武田 裕 作本 貞子	
高松税理士事務所	税理士	高松 義章	
針谷・中村法律事務所	弁護士 弁護士	針谷 紘一 中村 吉男	
樋上登記測量事務所	所長	樋上 子朗	

取引先等ご来賓(53名)

宮崎カーフェリー(株)	代表取締役社長 取締役大阪支店長	黒木 政典 岡田 良敬
宮崎カーフェリー(株)大阪支店	貨物営業部長	溝口 隆
(株)名門大洋フェリー	代表取締役会長 代表取締役社長 執行役員大阪南港支店長	阿部 哲夫 茶野 英樹 岡山 耕二
新日本海フェリー(株)	代表取締役社長 代表取締役専務取締役 取締役営業部長	入谷 泰生 薄井 正章 能戸 昇志
四国開発フェリー(株)	代表取締役社長	瀬野 洋一郎

四国開発フェリー(株) 大阪支店	支店長 貨物課長	矢野 邦志 佐伯 伸志
津国汽船(株)	代表取締役社長 宇野営業所長	津国 昭夫 浅野 英治
日本通運(株)宇野海運支店	支店長	塩見 修
南海フェリー(株)	代表取締役社長 代表取締役専務 営業部長	兜 秀昭 土岐 一樹 下崎 代志生
セコム損害保険(株)大阪支店	取締役大阪支店長	塩山 一彦
(株)日本旅行西日本営業本部	西日本営業本部長	田中 信治
トップツアー(株)難波支店	支店長	佐藤 弘勝
(株)ティ・アイ・ディ大阪支店	支店長	永原 保
丸十服装(株)	代表取締役社長	西川 記由
(株)東洋マーク製作所	代表取締役社長	田川 竹二
日東物産(株)大阪支社	営業部長	和田 純司
カルピスビバレッジ(株) 近畿支店	近畿支店長	齊藤 勝彦
(株)野木	代表取締役	野木 寿也
(株)新光社	代表取締役社長	野末 新一
(株)デンソー関西	代表取締役社長	林 英二
(株)菱和 関西支店	アフターマーケット部長	大久保 博士
(株)NPシステム開発	代表取締役社長	塩 梅 敏
(株)カムテック	代表取締役	奥村 誠
イー・ガーディアン(株)	代表取締役社長	高谷 康久
(株)倉本産業 大阪支店	支店長	林 義信
三井住友銀オートリース(株)	部長	生方 司
(株)イチネン	執行役員大阪支店長	浜野 誉朗
野村オートリース(株)	代表取締役社長	森 栄市
オリックス自動車(株)	ロジスティクス営業部長	土田 重彦
ジャパンレッキング サービス協同組合	理事長	清水 修
(株)JCB 大阪支店	西日本ソリューション 営業部長	浅木 英彦
ディ・エフ・エル・リース(株)	代表取締役社長	陌間 勢一
(社)西日本プラスチック 製品工業協会	専務理事	樋笠 昌弘
大日印刷		牧浦 得二
矢崎総業(株)	計装本部 計装営業 統括部 西部第一計装部長	渡部 泰正
(株)セイノー情報 サービス 大阪支店	支店長	水野 和志
(株)アイ・シー・ティサポート	代表取締役	宮永 正二郎
(株)シー・エス・エス	代表取締役社長	遠矢 厚久
丸大食品(株)	執行役員 関西統括営業部長	角 春樹
コーナンフリート(株)	代表取締役 販売部長 販売部大阪東ブロック長	疋田 耕造 竹内 雅人 大曲 剛
伊藤忠エネクス(株)	代表取締役社長 産業マテリアル事業本部 法人FCシステム販売部 西日本CFS販売課長	小寺 明 木原 優城

創立40周年

記念式典に拝受した祝電一覽

(順不同)

社団法人全日本トラック協会 会長 中西英一郎様

創立40周年を心よりお喜び申し上げます。昭和42年設立以来、中小トラック運送事業者の近代化、組織化に積極的に取り組むとともに、事業協同組合の育成指導にあたり、今日の輝かしい歴史を築かれましたことを、心からお祝い申し上げますとともに、歴代会長をはじめとする役員、会員の皆様の並々ならぬご尽力に心より敬意を表します。

この歴史ある40周年をひとつの節目として貴連合会が益々ご発展されるよう、祈念申し上げます。

大阪府知事 太田房江様

大阪府貨物運送協同組合連合会創立40周年記念のご盛会をお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご発展をお祈りいたします。

和歌山県貨物運送事業協同組合連合会 会長 濱井弘至様

貴創立40周年おめでとうございます。貴連合会は関西地区のみならず、全国的に我々業界の事業協同組合運営について、中心的な役割、ご尽力を頂いており、大変ありがたく思っているところです。これからも先頭に立って頂き、高速道路関係及び、組合運営について、より一層のご愛顧、ご指導のほど、お願い申し上げます。

愛知県貨物運送協同組合連合会 会長 小笠原和俊様

創立40周年のご祝典、誠におめでとうございませう。

西光会長様はじめ皆様方のご努力により、輝かしいご発展を遂げられたことに敬意を表し、更なる飛躍を期待しております。

関西トラック急行協同組合 理事長 佐藤澄隆様

創立40周年おめでとうございます。貴連合会の今までのご功績に敬意を表すと共に、今後のさらなるご繁栄をお祈り致します。

石狩新港運送事業協同組合 理事長 杉本守巧様

ご創立式典、誠におめでとうございませう。伝統ある貴連合会のみならず、ご発展を祈念いたします。

岡山県運送事業協同組合連合会 会長 室山脩之輔様

ご創立40周年記念式典、誠におめでとうございませう。伝統ある貴連合会のみならず、ご発展を祈念いたします。

創立40周年 記念式典に拝受した祝電一覧

(順不同)

大阪府中小企業団体中央会
会長 岡本 檜雄 様

創立40周年記念式典のご盛会をお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご発展をお祈りいたします。

大阪府運輸倉庫協会
会長 中野 正彦 様

大阪府貨物運送協同組合連合会創立40周年おめでとうございます。今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

近畿交通共済協同組合
理事長 坂本 克己 様

創立40周年おめでとうございます。貴連合会の今までのご功績に敬意を表すとともに、今後のさらなるご繁栄をお祈りいたします。

社団法人大阪府トラック協会
会長 大和 健司 様

大阪府貨物運送協同組合連合会創立40周年記念のご祝典、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げますとともに、貴連合会今後ますますのご発展を遂げられますよう祈念いたします。

株式会社りそな銀行
社長 水田 廣行 様

貴連合会の創立40周年式典のご盛会を心からお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

国民生活金融公庫
総裁 薄井 信明 様
参事・大阪支店長 根来 重夫 様

創立40周年記念式典のご盛会を祝し、併せて貴連合会の今後ますますのご発展と、皆さま方のご健勝をお祈り申し上げます。

中小企業金融公庫
理事大阪駐在 山本 耕三 様

貴連合会の創立40周年を心よりお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご発展をお祈りいたします。

商工組合中央金庫
理事長 江崎 格 様

創立40周年誠におめでとうございます。貴会並びに会員皆様方の今後ますますのご発展をお祈りいたします。

株式会社 渡辺産業運輸
代表取締役 渡辺 勝年 様

創立記念のご祝典、誠におめでとうございます。皆様のご努力により、ゆるぎないご盛業にあられますことは、喜ばしい限りと存じます。今後ますますのご躍進を心よりお祈りいたします。

株式会社 日本旅行 大阪南支店
支店長 平野 岳 様

創立40周年おめでとうございます。貴会の今までのご功績に敬意を表しますとともに、今後のさらなるご繁栄をお祈りいたします。

新日本海フェリー株式会社
代表取締役社長 入谷 泰生 様

貴組合様の創立40周年にあたり、謹んでお祝いを申し上げます。輝かしいご発展を遂げられた皆様の情熱に敬意を表しますとともに更なるご発展を心より祈念申し上げます。

セコム損害保険株式会社
取締役大阪支店長 塩山 一彦 様

創立40周年記念のご祝典、誠におめでとうございます。今後ますますのご躍進を心よりお祈りいたします。

閉式の辞

大阪府貨物運送協同組合連合会
副会長 中川 才助



これもちまして、記念式典を閉式させていただきます。
ご来賓の皆様より、ご丁寧な、心のこもったご祝辞を賜り、感謝申し上げますとともに、協同組合の皆様方の熱意を強く感じ、これからの連合会運営に、役員をはじめ関係者一同その責務の重大さを痛感いたしております。

この40周年を節目として、10年後の50周年に向かい、新たな飛躍と皆様方にお役に立てる連合会をめざし、お互いに手を携えて努力していきたいと思っております。今後とも、皆様方のお力添えをお願い申し上げます、閉式のことばといたします。

このあと第2部の記念講演会では、塩川正十郎先生をお迎えして、ご講演をいただきますので、ご聴講のほど、よろしくお願い申し上げます。どうもありがとうございました。

ホームページ開設のご案内



法律、税制、諸官庁ならびに関連団体の動向、諸資材購入価格および輸送動向の調査等の情報を積極的に提供しています。

(本格稼働 = 平成19年10月20日)

第2部 開演の挨拶

塩川正十郎先生にはご多忙のところ、創立40周年の記念講演会の講師をお引き受けいただき、心よりお礼申し上げます。

塩川先生は、昭和42年に衆議院議員にご当選されて以来、平成15年までの36年間、政界でご活躍され、この間には、運輸大臣、文部大臣、財務大臣など要職を歴任されております。

現在は、東洋大学総長をはじめ数々の要職に就任され、またテレビなどマスコミにおいても活躍されております。

本日の「当面の政治問題」は、聴講される皆様の大きな関心事ではないかと推察しておりますので、皆様におかれましては、最後までご聴講いただきますようお願い申し上げます。



大阪府貨物運送協同組合連合会
副会長 亀井 亮



演 題「当面の政治問題」

講演会

東洋大学総長
塩川 正十郎氏



謝辞（お礼のことば）

お陰様で、大阪府貨物運送協同組合連合会の創立40周年記念式典ならびに講演会を滞りなく執り行うことができました。これもひとえにご来賓をはじめ、お取引先、会員協同組合および組合員の皆様のご指導、ご支援の賜物と心より感謝とお礼を申し上げます。

これからも私ども貨物自動車運送業界の冬の時代はまだまだ続くとともに、より厳しくなるものと思われまます。適者生存の時代と言われておりますが、今までも中小事業者はへこたれることなく、したたかに生き抜いてきた経験があります。これからもお互いに手を携えるならば必ず春を迎えることが出来るでしょう。

今後とも皆様方のお力添えをお願い申し上げ、お礼のことばとさせていただきます。



大阪府貨物運送協同組合連合会
副会長 芦野 徹司



司会 専務理事 池谷 成之

大阪府貨物運送協同組合連合会役員



会長
西光 清



副会長
山口 雄



副会長
中川才助



副会長
亀井 亮



副会長
芦野徹司



専務理事
池谷成之



常務理事
岡本良一



理事
山本幸夫



理事
川端英治



理事
振津泰弘



理事
細見秀夫



理事
山田行雄



理事
南海久次



理事
中谷展朗



理事
小川正治



理事
柏原玄夫



監事
田村精造



監事
三井健司



監事
岡 保



相談役
大和健司



相談役
西尾清雄



相談役
齋藤 昭



相談役
宮田貴代

大貨協連とともに… 職員の思い

共生の意味かみしめて

池谷成之

大貨協連は創立 40 周年を迎えることができました。業界でお世話になって以来 38 年。まったく未熟であった私が、良き人に恵まれ、多くのことを教えていただきました。また数多くの人と接する機会に恵まれ、勉強しながら成長させていただきました。この業界に入って本当に良かったとしみじみと思っております。多くに人々に支えられてきたお陰と感謝しています。

日夜休みなく、物を運ぶことで人々の生活を支えているトラック運送事業の内容をお会いする人達にお話することによって、1 人でも多くの人達にトラックの理解者になっていただきたいとやってきました。

生産と物流は車の両輪のごとく、うまく調和されることにより円滑な経済発展がなされるもので、まさにトラック運送は経済の動脈でありながら、その事業経営は大多数が中小事業者であります。労働集約産業から経営 3 資源と言われる人・物・金のいずれもが大企業に比して脆弱な体質を、お互いが手を携えて共同の事業に取り組むことによって、体力の強化をはかるための協同組合活動が必要とされています。

経済活動が快適な生活をもたらす一方で、地球温暖化が人類の生存を危うくしている 21 世紀。環境を維持することで、次の世代に美しい地球を引き継いでいかなければならないことは、人間の責務であるといえます。

みんなが共通認識しながらも、人間の欲望が今日なお戦乱を引き起こし、争いごとが絶えない状況は、変わることがありません。

お互いに手を携えて生きていくことが、どうして出来ないのか。人間の英知を結集すれば、対立から協調への歩みが可能ならしめることを認識すべきです。

大正 12 年芝増上寺の椎尾管長によって創られたといわれています「共生」という言葉は「お互いの個性、文化を認めつつ、競争し、対立し、批判しつつ協力する」ということで、今日では普遍的な言葉として定着しています。まさに個人、企業、団体を問わず、大きくいえば国家においても、この言葉のように共生の意味をかみしめて行動するならば、素晴らしい世の中になるでしょう。

必要とされる大貨協連の組織づくり

岡本良一

大阪府貨物運送協同組合連合会(大貨協連)は昭和 42 年 10 月に創立し、そして 40 年の歳月が経過した平成 19 年 10 月 20 日、大阪市中央公会堂で創立 40 周年記念式典・講演会が挙行されました。

私も昭和 45 年 6 月に事務局職員として採用されて以来、37 年余を大貨協連と共に歩んできたことになり、創立 10 周年、20 周年、30 周年を事務局の一員として参画させていただきましたが、今回の創立 40 周年記念行事は、近年の厳しい経済情勢の中で、企画立案から記念行事を終えた後片づけまでの全てが手作り、手作業となったにもかかわらず、かくも盛大に執り行うことができたことはご来賓をはじめ会員協同組合とその組合員事業者、関係団体の皆さま、事務局等関係者が一体となって努

めた結果であり、心に残る催しの一つとなると思います。

私は機関誌創立 30 周年記念特集号で、新しい時代、次世代の要請に応えたいと書かせていただきました。しかしながら最近の業界動向は、行政による規制が緩和される一方で社会的規制は強化され、省エネ、環境対策、安全運行等の課題が山積し、また原油高騰による燃料価格の上昇などからますます厳しい事業経営環境となっており、大貨協連に対する期待、要請等も急激に変化し、また強くなっているように感じています。大貨協連では、創立 40 周年を機にホームページ「DAIKA」を開設し、更に燃料等共同購入事業等を実施いたしました。大貨協連に対する期待、要請等に応えられるようにホームページ「DAIKA」を活用し、時流に沿った調査・広報、教育情報、経済事業を積極的に推進していかなばならないと思っております。

初心忘れるべからずといえます。私が 37 年余の間、初心というより夢かもしれませんが、その夢の中の一つとしていることは、会員協同組合とその組合員事業者の皆さまから必要とされる大貨協連の組織づくりです。今後とも、創立 50 周年に向かって、一步一步歴史を刻みながら力強く前進していく大貨協連の一員でありたいと考えています。

幅広い視野で信頼に応えたい

田口 義隆

大貨協連は、この度、創立 40 周年記念式典を盛大に挙行でき、無事に終えることができましたことは、これも偏に会員協同組合ならびに組合員および関係各位、皆様のご支援ご協力のお陰であり、心より感謝申し上げます。

私は、昭和 63 年(1988 年)より大貨協連の職員としてお世話になり、今年で 20 年が経ちました。その間においては、創立 30 周年、また今回の創立 40 周年と 2 回目の周年記念を迎えられたことと、併せて永年勤続表彰を受賞させていただいたことを本当に嬉しく思っております。

この 10 年を振り返ってみますと、業務面において、高速道路関係で各道路公団の民営化や回数通行券等の廃止、更に別納制度の廃止に伴う新制度への移行と言ったようなことで、大変だった時期のことが思いだされます。

また、私自身においては、会員協同組合の開催する会議等の場に出席をさせていただく機会も年々増えてまいり、その関係で多くの方々と出会え、新たな人脈を築けたことが最大の喜びであります。

大貨協連は、会員協同組合あつての組織であり、この 40 年間で築いてきた全国一の組織力を今後もフルに活用させ、会員協同組合および組合員の期待に応えられるよう積極的に新規事業の開発に努めるとともに、各種共同事業を通じ協同組合の活性化を図ることが重要であるため、私自身全力で取り組んでまいりたいと思っております。

そのためには、私自身において、貨物自動車運送業界のことは勿論のこと、その他の分野においてももっと知識を習得し、幅広い視野をもって会員協同組合および組合員の皆様の信頼に応えられるよう努力してまいりたいと考えております。

最後になりますが、経済状況が相変わらず厳しい中、貨物自動車運送業界においてもいろいろな問題が山積し大変厳しい状況が続くと思っておりますが、会員協同組合および組合員の皆様にも少しでもお役に立てるよう、微力ではございますが、次の 50 周年に向けて更なる努力を重ね、頑張りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

「同志」

出口 隆一

同志という言葉を使うと何か共産圏の政権党争を想起させるが、今回40周年記念事業を準備するに際して私は改めてこの同志と呼ぶことのできる友と共に事を成すその喜びを痛感した。

そして、記念事業を終えた後の世評は別にして、この記念事業を成し遂げたことは私の人生にとって大袈裟ではなくひとつの大きな財産となった。

ひとりでは決して事を成すことはできない。自分と同じ目的をもつ同志が共にいてこそ互いに切磋琢磨し、その互いの力を発揮することができる。その力は単純に人数を掛け合わせただけの力ではなく、その数乗あるいは数十乗にも掛け合わされた大きなチーム力となって結実する。

今回準備段階で私は幸いにもその同志を得ることができた。退社後、共に酒を飲みながら、また他日珈琲を飲みながら、私の40周年事業に対する考えを述べ、また同志の考えを聴いた。相手に対し自分の考えを述べていくうちにその考えは更に密度の濃いものへと変貌していく。相手の考えは「聞く」のではなく「聴く」のである。能動的にかつ積極的に耳を傾けて聴くのである。そして都度自分の考えを検証していくのである。その議論の時間を惜しまず何度も重ねるうちに互いの共通の目的が生まれ、そして同志の絆が結ばれるのである。

正直今回準備を進めるうちに私の心のなかに何度か迷いが生じた。そのときその同志が私の先頭に立って私を牽引してくれた、ただただ感謝の一語に尽きる。

40周年事業においては私達は表舞台に立つことはなく、結局裏方に終始した。しかし、その40周年事業を終えた後、同志とのその果実は今までの何にも増して美味であった。

私も既に50代の半ばに達した。大貨協連で私に残された時間は少ない。しかしこの40周年事業で得た同志と共に残された時間、仕事ができることは私にとって無上の喜びである。

初心に立ち返る

小島 浩

大貨協連が、平成19年の秋に創立40周年を迎えました。

このように大貨協連が、創立40周年を迎えられたことは、歴代の役員、会員、事務局等のご尽力、ならびに関係各位等の多くの人たちのご協力の結果があってこそだと思います。

30周年からこの10年間、大貨協連を取り巻く環境は著しく変わったといえます。その中でも阪神高速・首都高速の回数券の廃止、高速道路別納制度の大口多頻度割引への移行、道路4公団の民営化などは、大きなものといえると思いますし、去年の中小企業等協同組合法の改正にいたっては、特に協同組合の連合会としては、大きな変化といえるのではないのでしょうか。

30周年の際に記念誌に書いたことを思い出し、もう10年が過ぎてしまったことに、時間の過ぎていく早さに驚いています。

これから先の10年間の情勢の変化は、ますます早く、又、複雑になっていくのではないかと考えられます。ですから、そういう情勢の変化に対応できるように、ここで初心に立ち返る。そのことによって、自分にとって何が必要なのか、ということをよく考えた上で行動しなければいけないと思います。

これから先の大貨協連を含む運送業界を取り巻く環境は、燃料の高騰、運賃の低迷、環境コストに対する負担の増大などなど、決してよいものではなく、厳しい環境が続くと思われませんが、会員協同組合と構成員の方々に対して何が良いかを考えて提供できるように、微力ではありますが、皆様方のお役に立てるように努力していきたいと思っております。

絆をもった熱いチームへ

三宅 博

大貨協連の創立 40 周年にあたり、これまで歴史を刻んでこられた歴代役員の方々や事務局の先輩方に敬意を表するとともに、いつも当会を支え応援して下さる会員や組合員の皆様、そして取引先の皆様に心から感謝申し上げたい。

さて、私が大貨協連に入社したのは平成 7 年 10 月、24 歳の時である。当時を振り返ると、これからの自分の人生に大きな希望と期待を抱いて入社したことを覚えている。以前、仕事を受ける態度や姿勢の大切さは教わったことがあったので、新入職員として与えられた仕事は気持ちよく受け入れ、迅速・正確にこなすことを心掛け、日々取り組んでいたことを思い出す。

それから 12 年が経ち、今では 36 歳になった。自分で言うのもなんだが、いい歳になった。個人的には結婚して子供も生まれ、ささやかではあるが温かい家庭を築けている。また、社内では中堅職員として部下や後輩ができ、ある程度自分なりの考えや判断で仕事ができている。しかし、月並みな言い方になるが、今日に至るまでの道りは決して平坦なものではなかったし、本当に様々な出来事に泣き、笑い、苦悩した。そんな中、多くの人々に出逢い、その人達とのふれあいを通して私の中に生まれるほかほかとした幸せな気持ち。そんな気持ちが今の自分の支えであり、その人達のお役に立てることへの喜びが仕事をするうえでのモチベーションとなり励みとなっている。

これから大貨協連は創立 50 年に向け歩んで行くわけだが、それぞれの人生の貴重な時間を共にする仲間として、助けあい、支えあい、励ましあうことができる絆をもった熱いチームになれば、そんな大貨協連になれば良いと思う。

私の好きな言葉に「最後に勝つのは、道義であり、誠であり、まごころである」という言葉がある。私はこの言葉を大切にしてきたが、これからの人生においてもそれは変わらず、人の心とふれあいながら生きていきたいと思う。そして、ほんの少しでも人に勇気を与えられる、人を励ますことができる、そんな魅力ある人間になりたい。

後輩たちのよきお手本に

四宮 加奈子

私が大貨協連に入社したのは、ちょうど 10 年前の創立 30 周年記念式典が開催された年であります。早いもので、あれから 10 年の年月が経ちました。またこうして創立 40 周年記念式典にも当連会会の職員として参加させていただくことが出来たことをうれしく思います。

光栄な事に、40 周年記念式典では栄えある永年勤続職員表彰を受けました。式典会場である中之島の大阪市中央公会堂は歴史のある建物で、その壇上に上がらせていただく時はとても緊張しましたが、その一步一步が大貨協連の歩んできた長い歴史と重ね合わされ、非常に感慨深いものがありました。同時に、私がこうして 10 年間も勤められたのは、役員の方々をはじめ組合員の皆様、そして職場の先輩方の温かいご支援、ご指導のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

振り返ってみると、この 10 年間で連会会の事業活動は日々変化しております。入社当時、私は阪神・首都高速道路の回数通行券販売業務に携わっておりました。その後、回数券販売が終了、道路公団の民営化、高速道路の ETC 割引への移行など、その時代を取り巻く経済環境に応じて事業転換が行われました。ETC カード事業の普及・利用促進や、ここ近年の燃料価格の高騰対策としての燃料共同購入の取り扱いの開始などもその一つと言えます。又、インターネットの普及に伴い、最近では大貨協連のホームページが開設されました。組合員の皆様には、広く意見交換を行い、情報収集の場とし

て有効にご利用していただけることと思います。

回数券業務を終えて、福利厚生事業としての保険業務や、大貨フェリー幹旋などのいろいろな業務に携わっていく中で、組合員様の要望に耳を傾け、より積極的にサービス向上に取り組んでいく事が大切だと知りました。

さて、入社当時は一番新人だった私にも、今や多くの後輩ができ、事務局も若いエネルギーで活気にあふれております。40周年と言う節目の年を迎え、改めて気持ちを引き締めて、後輩達のよきお手本となるようにがんばって参ります。

「人の言葉が人の気持ちを動かす」

高木 明子

私が大貨協連に就職したのは短大を出てすぐでした。職員全員で11人。人数は9年と6カ月経った今でも変わりません。その頃も不況とはいえ阪神高速券などの回数券を販売していたこともあり、毎日たくさんの方が訪れてくださいました。

ところが、平成17年1月、阪神・首都高速券の廃止。続いてハイウェイカードの廃止。別納カードからETC車載器・車両・カードこれら三位一体型になったコーポレートカードへの移行。時間帯割引や期間限定の割引。これから阪神・首都高速の均一料金から距離料金制になろうとして。原油の高騰。息つく暇がないくらい波が押し寄せてきます。

私は管理部に配属しているので訪れる方と直接話す機会もあまりないのですが、たまに話を聞く機会に恵まれます。そんな方々はとてもパワフルでいろんな話をしてくださいます。大阪の町の話、運送業界の話、今までの流れ、大貨協連に対しての想いなんかも時々。胸が熱くなります。

大貨協連が創立40周年を迎えられたのも歴代の会長・役員はじめ、たくさんの方の会員・組合員の皆様の力強い支えがあったからだと思います。

ある人が何気なく言ってくれたひと言があります。「仕事に雑用はない」励ましではなく、本当にコピー機に紙を入れる時だったと思いますが。

どんなに時代が変わっても、不況の波が次々やって来ても、人を動かすのは人。人の言葉が人の気持ちを動かす。言葉が足りなくてトラブルを招くこともありました。事務局の中でも外でも見習う人はたくさんいます。まだまだ力不足ですが、これからも大貨協連の一員として少しでも人の支えになりたいと思います。

ETC コーポレートカードの大事さ伝えたい

井上 智文

私は大貨協連に入社して2年半を超えました。このたび大貨協連は40周年を迎えまして、この先も大貨協連の社員の一人として日々向上して頑張っていきたいと思いました。

私が主に担当している業務は、ETCコーポレートカードの申込みやカードの受け渡し、大口・多頻度割引における様々な変更書類の提出の為に西日本高速道路株式会社の方へ訪問しています。ETCの使える道路も随時増えていきますし、通勤割引や深夜割引といった色々な割引制度があるものの、それでも昨年から続いております原材料や燃料の高騰の他、阪神高速道路の長距離利用者にとっての実質の値上げ等により中小企業の運送事業者様には苦しい経営を強いられている事を強く認識しています。

したがってETCコーポレートカードは非常に大事な物と考えています。大貨協連は組合員様に大

きな割引を提供していく組織でありますので、私の場合は今後も道路会社へ毎日訪問して一日でも早く組合員様へETCコーポレートカードをお渡しできるように今後も取り組んで参ります。

このカードは登録された車両以外で使用すると割引がなされなくなりますので、組合員様の為にも車両不一致が一つでも無くなるように活動していきたいと思っています。あと車両制限令の違反についてもETCコーポレートカードの割引停止につながりますので、引き続きこのような事が無いように活動して参りたいと思います。

私は車両制限令の講習会を受講して感じた事が、割引停止措置に該当する事も大事ですが、重大事故を引き起こす原因になるという事です。昨年よくニュースになっていましたのが産地偽装や消費期限の改ざんが大きく取り上げていました。私はこれを見て企業は利益優先に考え過ぎると必ずうまくいかないと思いました。失った信用をもう一度取り返す事は難しいですし、ほとんどの会社は倒産に追い込まれると思います。

大貨協連はこれからも組合員様に信頼できる組織でなければなりません。私はまだ大貨協連の業務も一部しか解りませんし運送業界の事もまだまだ解らない事が多くて勉強中の身でございます。私は早く一人前になって組合員様のお役に立てる社員になるように頑張っていきます。

なにか、残したい

中井 博

平成17年7月入社で3年経とうとしております。(来年還暦をむかえます。)

私の主な担当業務としてですが、経済事業の保険事業の「全国トラック事業グループ保険」と「法定外労災保険」の担当をしております。グループ保険は、1300人の方(全国約1万2500人の方)、法定外労災保険も640人の方にご加入していただいております。掛金が割安な上、大きな保障がうけられますのでパンフレット等ご覧になって(パンフレットご要り用の方は、ご連絡下さい)、ご意向(ニーズ)に添えましたら是非ご加入の程お願いいたします。また、日々ご加入していただいている方は、もとより皆様のご健康をお祈り申し上げます。

それと、大阪北トラック協同組合様の大口・多頻度割引利用申込車両等の変更届の追加車両・車両入替・車番変更・車載器の管理番号変更の申請届けをいただいて内容確認した上で皆様にご連絡をさせていただきます。モットーとして手元に書類がきたら何を差し置いても一番に内容確認してオーケーですと、電話を入れることです。またETCコーポレートカードのご利用につきましては、登録車両でのご使用を、「受け渡し時・走行する前にもう一度念のために確認」を車両不一致走行のないよう一人一人の意識でよろしく願います。

結びとして大貨協連さんに勤務させていただいた証としてなにかを残していきたいと考えております。今後ともよろしくお願い致します。

ここでしかできない貴重な経験

南藤 友美

この度、大貨協連が創立40周年を迎え、この職場に勤めている職員の一員として喜ばしく思っております。「40年」と文字で表すのはとても簡単なことですが、創立から今までたくさんの組合及び組合員の方々のご協力と、役員の皆様や先輩職員方のご尽力があって今日の大貨協連事務局があるものと、ひしひしと感じております。

私が大貨協連に勤めることになりましたのは平成13年の夏のことでした。当時私は派遣社員としてこの大貨協連に配属されたのですが、派遣コーディネーターの方に連れられて鳴野の民家が建ち並ぶ町内を「この様な住宅街に職場があるのか」と歩いたこと、そして信号を渡ってトラック会館が見えた時には想像以上に立派な建物があらわれて驚いたことを思い出します。新しい派遣先への初出勤日というものは何度経験しても多少なりとも不安がつきまとうもので、当時の私も新しい環境に早くなじめるかと心配しておりました。しかし大貨協連の先輩方はみなさん優しく迎え入れて下さいましたので、すぐにうちとけることができました。今思い返しましても感謝の気持ちでいっぱいです。

大貨協連に勤務して最初に従事した業務は回数通行券、ハイウェイカード等の販売業務でした。6年前には5万円・3万円の高額ハイカや阪神高速道路の回数券がまだ販売されており、今から考えれば利用者の皆様は大きな割引を享受できていた時期でした。それが次々とハイカ、阪神高速の回数券廃止がきまり今でも非常に残念でなりません。駆け込み需要で大量のハイカや回数券の購入申し込みがあり、夢に出るほど業務におわれたことも当時は大変でしたが、今となってはいい思い出となっております。

私が大貨協連で過ごしている約6年という期間は40年という長い年月のほんの一部でしかありません。それでも私にとっては、ここでしかできないとても貴重な経験ができていると思っております。業務を通じ組合や組合員の方々から頂きます数々の厳しくも温かいご指導を忘れることなく、これからも大貨協連の一員として精進努力して参ります。



概 要

名 称	大阪府貨物運送協同組合連合会（略称＝大貨協連）
所 在 地	〒536-0014 大阪市城東区嶋野西2丁目11番2号 電話番号 06-6965-0581 FAX番号 06-6965-0589
設 立	昭和42年10月2日 創立 昭和42年10月26日 認可 昭和42年11月11日 登記
出 資 金	1,190,000円（平成19年9月30日現在）
会 員 数	119協同組合（所属組合員総数 2,481社(店)）（平成20年3月31日現在）
年 間 予 算	169,152,000円（平成19年度）
役 員 構 成	会 長 1名 副 会 長 4名 専務理事 1名 常務理事 1名 理 事 9名 監 事 3名 相 談 役 4名 顧 問 2名
事 務 局	9名
主 な 事 業	<p>①教育情報事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門相談員による法律、会計・税務に関する相談 ・ WebKIT事業大阪版の普及、利用促進 ・ 講演会、各種研修会の開催 ・ 協同組合の設立、運営に関する相談 <p>②調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニター会社による品目別輸送動向・諸資材価格調査 ・ 各種金融動向調査 <p>③経済事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ETCカード事業の普及、利用促進 ・ 大貨フェリー予約センターの利用促進 ・ 共同車庫の維持、管理 ・ 諸資材の共同購入、斡旋 <p>④業務代行・事務受託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員協同組合が実施する事業の業務代行 ・ 会員協同組合の計算事務等の受託 <p>⑤福利厚生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共済グループ保険等の加入促進 ・ メタボリック対策セミナーの共催

治 革

昭和42年 1967	<ul style="list-style-type: none"> ・創立総会開催(会員数30協同組合) 10月 ・大阪市南区鰻谷東之町3番地の4に事務所設置 ・設立認可 11月 ・設立登記
昭和43年 1968	<ul style="list-style-type: none"> 4月 ・共済グループ保険、共済年金保険取扱開始 9月 ・作業服斡旋開始
昭和44年 1969	<ul style="list-style-type: none"> 4月 ・阪神高速道路回数通行券販売開始 ・自動車保険(交通共済)検討 11月 ・高速道路通行料金別納制度取扱開始
昭和45年 1970	<ul style="list-style-type: none"> 3月 ・大阪万国博覧会入場券販売
昭和46年 1971	<ul style="list-style-type: none"> 5月 ・大同生命経営者大型保険取扱 8月 ・セントラルフェリー航送運賃後払制度取扱開始 10月 ・タコグラフチャート紙斡旋
昭和47年 1972	<ul style="list-style-type: none"> 4月 ・大貨協連情報発行 11月 ・極東オイル斡旋 ・日清食品カップ・ヌードル販売 12月 ・セントラルフェリー廃航・航送運賃後払制度取扱終了 ・マイカー・シグナル斡旋
昭和48年 1973	<ul style="list-style-type: none"> 6月 ・警告反射板(三角板)共同購入 ・洗車機斡旋 8月 ・法定外労災保険取扱開始
昭和49年 1974	<ul style="list-style-type: none"> 2月 ・新通案内広告求人広告取扱開始 ・カークーラー、カーワックス斡旋
昭和50年 1975	<ul style="list-style-type: none"> 10月 ・三菱ふそう車両購入奨励金制度開始
昭和51年 1976	<ul style="list-style-type: none"> 7月 ・カストロールオイル斡旋
昭和52年 1977	<ul style="list-style-type: none"> 3月 ・三菱ふそう車両購入奨励金制度終了 4月 ・機関紙「THE TRUCK CO-OP」発行 7月 ・高速道路通行料金別納制度取扱取消 10月 ・創立10周年記念式典開催
昭和53年 1978	<ul style="list-style-type: none"> 12月 ・全ト協ジャスト(JUST)事業参加
昭和54年 1979	<ul style="list-style-type: none"> 2月 ・中小企業倒産防止共済制度取扱開始 4月 ・機関紙「THE TRUCK CO-OP」月2回発行
昭和55年 1980	<ul style="list-style-type: none"> 10月 ・日本自動車連盟(JAF)ロードサービス料金後払制度取扱開始 ・大貨フェリー予約センター設置 12月 ・日本カーフェリー、大洋フェリー航送運賃前払割引制度取扱開始 ・関西ヨコハマタイヤ共同購入 ・フェリー時刻表販売
昭和56年 1981	<ul style="list-style-type: none"> 9月 ・日本カーフェリー、大洋フェリー、広島グリーンフェリー、新日本海フェリー、四国開発フェリー航送運賃後払制度取扱開始

昭和57年 1982	4月	・広島グリーンフェリー廃航・航送運賃後払制度取扱終了
	6月	・品目別輸送動向・諸資材価格調査開始
	8月	・大阪高知特急フェリー航送運賃後払制度取扱開始
	10月	・MCA無線従事者資格取得講習会開催
昭和58年 1983	3月	・協同組合決算・税務講習会開催開始 ・京阪神区分地図作製配布
昭和60年 1985	7月	・大阪府トラック協会信用保証制度出捐
昭和62年 1987	4月	・会員協同組合理事長、専従役員表彰規程施行
	10月	・創立20周年記念式典開催
昭和63年 1988	5月	・首都高速道路回数通行券販売開始
平成元年 1989	11月	・本四フェリー(津国汽船、日本通運)航送運賃後払制度取扱開始
	6月	・ハイウェイカード販売開始
	11月	・専門相談員制度(会計・税務)設置
平成2年 1990	12月	・大阪市城東区鳴野西2丁目11番2号(現在地)に事務所移転
	2月	・菅原城北大橋回数通行券販売開始
	9月	・岡山ブルーハイウェイ回数通行券販売
平成3年 1991	11月	・大型後部反射板斡旋 ・JR新幹線エコノミー切符販売
	10月	・ネットワークKIT事業大阪版運用開始
平成5年 1993	4月	・南海フェリー航送運賃後払制度取扱開始
	10月	・日本旅行提携、旅行紹介業務取扱開始
	3月	・日本自動車連盟(JAF)ロードサービス料金後払制度取扱終了
平成9年 1997	4月	・第二阪奈有料道路回数通行券販売開始
	5月	・携帯電話斡旋
	7月	・ジャパンレッキングサービス協同組合(JWS)ロードサービス料金後払制度取扱開始
	10月	・大阪市駐車場共通回数券(プリペイドカード)販売開始 ・創立30周年記念式典開催
	11月	・豊中庄内共同車庫開設
	12月	・大阪港咲洲トンネル通行回数券(カード)販売開始 ・アイドリングストップ用ストラップ販売開始
	12月	・蓄熱ウォームマット販売開始
平成10年 1998	3月	・住宅地図・電子地図帳斡旋
平成12年 2000	2月	・ベルト式荷締機、玉掛吊り下げ用ベルト斡旋
	11月	・三井オートリース提携車両リース取扱開始
平成13年 2001	2月	・飲料水自動販売機設置斡旋
	4月	・堺泉北有料道路回数通行券販売開始
	8月	・経営者健康づくり体験セミナー共催

2002 平成14年	5月	・丸大食品中元・歳暮斡旋
	12月	・ETC車載器販売開始
平成15年	4月	・排ガス等環境対策制度融資に係る商工中金・中小企業金融公庫・国民生活金融公庫合同説明会
	6月	・アルコールチェッカー販売開始
	8月	・イチネン、野村オートリース提携車両リース取扱開始 ・セコム安全システム商品紹介業務開始
	9月	・事故防止健康セミナー共催
2003 平成16年	10月	・高速道路通行料金大口・多頻度割引の要望活動
	12月	・専門相談員制度(法律)設置
平成17年	4月	・阪神高速ETC利用割引制度創設、回数通行券継続の要望活動
	1月	・阪神・首都高速道路回数通行券販売終了
	3月	・阪神高速ETC利用後納割引制度創設の要望活動
	6月	・ETCスルーカードN(JCB)取扱開始 ・大阪高知特急フェリー廃航・航送運賃後払制度取扱終了
	8月	・機関紙「THE TRUCK CO-OP」廃刊
	9月	・ハイウェイカード販売終了 ・オリックス自動車提携車両リース取扱開始
2005 平成18年	11月	・阪神高速ETC利用契約者単位割引創設の要望活動
	3月	・菅原城北大橋回数通行券販売終了
2006 平成19年	6月	・デジタルタコグラフ斡旋
2007	2月	・「動くこども110番運動」協力開始



創立40周年記念誌

平成20年3月31日発行

大阪府貨物運送協同組合連合会

〒536-0014

大阪市城東区鳴野西2丁目11番2号

電 話 06-6965-0581

F A X 06-6965-0589